

大学院副専攻プログラム「金融・保険」既修得科目申請書(見本)

平成 28 年度 1 学期

所属：大阪大学 大学院 経済学 研究科 前 後 期課程 経済学 専攻

平成 28 年度入学 学籍番号： 11A11111 氏名： 阪大 太郎

連絡先住所：〒560-0000 大阪府豊中市・・・

認定結果連絡先電話番号： 06-6850-9999

認定結果連絡先メールアドレス： xxxxxxx@xxxx.osaka-u.ac.jp

既修得科目申請の規定

1. 過年度あるいは当該年度前学期に大阪大学のいずれかの部局において同科目あるいはそれら同等の科目を修得済みの場合に、センター認定の上でコースごとに4科目を上限としてコース修了認定要件の中に入れることができる。ただし、副専攻プログラムの制度上、所属研究科の課程修了に必要な最低単位数に追加で7単位以上を修得する必要があるが、この4科目を上限とする既修得単位は追加7単位の中には含まない。
2. 上記の認定を受けるためには、下表に必要な事項を記入の上 当該科目を修得済みであることを証す正式な書類（例えば成績証明書）を添えてセンターへのエントリーの際に提出しなければならない。
3. 認定の可否については判定後速やかにセンター事務局より連絡する。

既修得認定希望科目表（既修得の認定を希望する科目に○を付けて下さい。平成 25 年度以前入学者で、もし科目表に認定希望科目がない場合は、余白に追加記入して下さい。）

コ ー ス 名	科目 コード	センター科目名	○ 印	対応する科目名	認定 部局	担当 教員	修得 年度 ・ 学期
金 融 経 済 ・ 工 学	E-01	金融システムの基礎					
	E-02	投資理論					
	E-03	確率論の基礎	○	経営学特論(ファイナンスのための確率論)	経済	XXX	27年2学期
	E-05	コーポレート・ファイナンス					
	E-06	金融経済学					
	E-07	金融計量経済学					
	E-09	金融工学					
	E-10	リスク・マネジメント					
	E-11	企業分析と評価					
	E-12	ファイナンスのための数値解析法					
	E-13	金融数理概論					
	E-14	金融確率解析					
	E-16	保険数学1					
	E-18	アセット・プライシング					
	E-24	確率解析					
	E-26	金融数理特論					
	E-27	年金数理					
	E-56	最適化モデルとアルゴリズム					
E-59	計算ファイナンスの基礎	○	計量ファイナンスの基礎	基礎工	YYY	27年1学期	
E-60	数理計量ファイナンスに関するトピックスI						
E-61	応用アセット・プライシング						
E-62	財務報告戦略						

イン シ ュ ア ラ ン ス	I-01	金融システムの基礎					
	I-02	保険数学1					
	I-03	年金数理					
	I-05	統計解析					
	I-08	保険数学演習					
	I-09	リスク・マネジメント					
	I-12	確率論の基礎	○	経営学特論(ファイナンスのための確率論)	経済	XXX	27年2学期
	I-13	金融数理概論					
	I-19	確率解析					
	I-20	金融確率解析					
	I-21	確率微分方程式					
	I-29	保険計理1					
	I-30	保険計理2					
	I-31	リスク理論1					
	I-32	リスク理論2					
	I-39	情報計算工学					
	I-52	金融工学					
	I-56	最適化モデルとアルゴリズム					
I-59	計算ファイナンスの基礎	○	計量ファイナンスの基礎	基礎工	YYY	27年1学期	
I-61	投資理論						
数 理 計 量 フ ァ イ ナ ン ス	M-01	金融システムの基礎					
	M-02	投資理論					
	M-03	確率解析					
	M-04	統計解析					
	M-05	統計的推測					
	M-06	多変量解析					
	M-07	金融数理概論					
	M-08	金融数理特論					
	M-10	金融確率解析					
	M-11	確率微分方程式					
	M-12	データ解析					
	M-13	時系列解析					
	M-14	金融工学					
	M-15	リスク・マネジメント					
	M-44	計算ファイナンスの基礎	○	計量ファイナンスの基礎	基礎工	YYY	27年1学期
	M-45	統計数理特論					
	M-46	数理計量ファイナンスに関するトピックスI					
	M-51	意思決定とデータ科学					
M-52	Data Science and Case Studies I						